
一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

平成 28 年度 社員総会 議案書

日時 2016 年 6 月 25 日(土) 11:30~12:35
会場 日本大学 理工学部 駿河台校舎 1 号館 2 階 211 会議室

議事次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長等選出（議長 1 名、議事録署名人 2 名、記録者 1 名）
4. 議 事
 - 議案 - 1 平成 27 年度 事業報告
 - 議案 - 2 平成 27 年度 決算報告
 - 議案 - 3 監査報告
 - 議案 - 4 平成 28 年度 事業計画案
 - 議案 - 5 平成 28 年度 予算案
5. 報告
 - 1) 第 20 回（平成 29 年）全国大会（東海大会）の概要
6. その他
7. 閉会

4. 議 事

議案-1 平成27年度 事業報告

1-1 : 常設委員会

1-1-1 総務委員会 委員長 池田 典弘

- (1) 定款・内規等の規定について、見直しを実施した。
 - ・支部・委員会会計規則において、学会誌広告掲載に関する部分を挿入し、同時に誤字等も修正を行った。
 - ・マイナンバーの番号法に伴う新規規定の制定について、検討中。
 - ・学会運営の迅速化と選挙制度の簡便化に伴う選挙制度の見直しを検討中。
- (2) 総務委員会の役割について、会長副会長事務局と意見交換を実施。
事務局長を含め事務局の負担について、役割分担も含め調整を行った。
- (3) CiNiiに関する電子図書館事業の終了に伴うJ-STAGEへの移行手続について
 - ・「福祉のまちづくり研究」誌のJ-STAGE公開について、3月1日科学技術振興機構(JST)よりJ-STAGEの登載時期は平成28年度より開始となるとのこと。開始時期は4月～6月に決定した。
 - ・PDFデータ(Web搭載サービス)で進めるか、外部委託してXMLデータで進めるか検討した結果、XMLデータ形式で進めることとした。会誌印刷とセットでXMLデータ変換も対応可能なサンワに決定。
- (4) 学会としてのリーフレットの作成。
 - ・理事からの意見を参考に、内容や構成等の見直しを行い、印刷業者1000部印刷済、HPにも公開済。
- (5) 購読者の拡大に向けての取組みについて
 - ・大学教員の会員を経由して、直接大学の図書館での定期購読のお願いをし、図書館に置いてもらうアプローチをお願いした。
- (6) 予算及び事業計画の立案と社員総会の運営。

1-1-2 論文委員会 委員長 狩野 徹

- (1) 学会誌掲載
 - ・Vol. 17, No. 2 (2015年7月15日発行) : 原著論文4件
 - ・Vol. 17, No. 3 (2015年11月15日発行) : 原著論文0件
 - ・Vol. 18, No. 1 (2016年3月15日発行) : 原著論文2件
- (2) 投稿者のブラインド査読の検討
 - ・全てをブラインド化するのは本学会の規模と専門性を考慮すると困難と判断し、実施しない
- (3) 2015年度 査読結果
 - ・2015年度投稿数 : 12件 2014年度からの査読結果および掲載持越し : 4件
 - ・学会誌 Vol. 17-No. 2 掲載 : 4件
 - ・学会誌 Vol. 17-No. 3 掲載 : 0件
 - ・学会誌 Vol. 18-No. 1 掲載 : 2件
 - ・不採用 : 4件 ・取下げ : 1件 ・次号掲載決定および査読中 : 5件

1-1-3 学会賞選考委員会 委員長 磯部 友彦

- (1) 第6回学会賞・市民活動賞の選考
 - ・2015年1月23日 募集開始
 - ・2015年3月31日 応募締め切り。応募件数6件。
 - ・2015年6月1日 選考委員会開催。2件を選考。
「愛知 TRY の活動」「地域福祉ネットワークの構築と防災教育活動の取り組み」
 - ・2015年8月8日 全国大会の期間中に表彰

(2) 第6回学会賞・学術賞の選考

- ・福祉のまちづくり研究 15 巻3 号から 17 巻1 号までに掲載された計 14 本の原著論文を対象。
- ・2015 年6月1日 選考委員会開催。1 件を選考。
「著者：砂川尊範、鈴木清、土井健司、論文名：歩道清掃状態が歩行者の安全性と快適性に及ぼす心理・行動的影響に関する研究」
- ・2015 年8月8日 全国大会の期間中に表彰

(3) 第18回全国大会、大会優秀賞及び大会奨励賞の選考

- ・2015 年8月第18回全国大会開催時に、各セッションの座長に推薦を依頼した。
- ・推薦のあった計 20 本の研究発表について、概要集に掲載された論文を6人の選考委員が審査し、大会優秀賞1件、大会奨励賞4件を選考。
- ・大会優秀賞 (1 件)
①代表者：伊賀公一 (特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構)
「LED (発光ダイオード) のカラーユニバーサルデザイン」
- ・大会奨励賞 (4 件)
①代表者：伊東英幸 (日本大学)
「集合住宅における高齢者の身体活動と近隣歩行環境評価結果の分析 - 千葉県習志野台団地を対象として -」
②代表者：西村顕 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
「知的・発達障害のある子どもの住まいに関する研究-キッチンまわりにおける事故実態と家庭内での対応方法-」
③代表者：樋口恵一 (公益財団法人 豊田都市交通研究所)
「中山間地域における高齢ドライバーの活動量と将来の手段選択に関する分析」
④代表者：藤岡泰寛 (横浜国立大学大学院)
「高齢化の進む長期経過団地における DIY ヒートショック対策技術の開発研究」

(4) 第7回学会賞・市民活動賞の募集

- ・2016 年2月17日 募集開始。・2016 年3月31日 応募締め切り

1-1-4 会誌委員会 委員長 澤田 大輔

(1) 学会誌発行

- ・『福祉のまちづくり研究』 Vol. 17 No. 2 7月15日発行
特集1 「高度なUDを目指す日本、中国、韓国特別セミナー」報告
<特別研究委員会の活動から>
特集2 五感を活用したサイン環境デザインの現況と可能性を考える (サイン環境特別研究委員会)
特集3 地域福祉交通特別研究委員会の活動と地域福祉交通政策の論点 (地域福祉交通特別研究委員会)
- ・『福祉のまちづくり研究』 Vol. 17 No. 3 11月15日発行
特集1 柏大会報告
<特別研究委員会の活動から>
特集2 福祉のまちづくりの国際的展開とその展望 (国際特別研究委員会)
特集3 視覚障害者・聴覚障害者の社会参加を推進する近年の取組み (情報・コミュニケーション特別研究委員会)
※特集記事名を表紙にも記載、巻末広告掲載開始
- ・『福祉のまちづくり研究』 Vol. 18 No. 1 3月15日発行
<特別研究委員会の活動から>
特集 福祉のまちづくりにおける住民参画の課題整理 (住民参画・社会環境特別研究委員会)
「福祉のまちづくり×〇〇」も3号目となった。

(2) 会誌委員会の開催

- ・2015年6月13日(土) 日本大学理工学部5号館にて

1-2 : 学術研究委員会

1-2-1 学術研究委員会 委員長 八藤後 猛

(1) 委員会

- ・2015年10月22日(木) : 第1回委員会開催 18時00分~20時00分 <中央大学後楽園キャンパス>
議案 : 第二期特別研究委員会の現状報告、ならびに2016年度全国大会(函館)論文発表方法、大会論文プログラム編成に関する基本方針に関する事項。今後の学会における学術研究レベル向上のための意見交換。
- ・2015年12月22日(火) : 第2回委員会開催 18時10分~20時10分 <日本大学理工学部駿河台校舎>
議案 : 2016年度全国大会(函館)論文発表に関するコメンテーター付き論文等、プログラム編成、ならびに審査方法に関する事項。同研究討論会(学術研究委員会、特別研究委員会企画・主催)に関する事項。
- ・2015年3月1日(火) : 第3回委員会開催 18時00分~20時00分 <日本大学理工学部駿河台校舎>
議案 : 2016年度全国大会(函館)論文発表、ならびに同研究討論会(学術研究委員会、特別研究委員会企画・主催)に関する事項。

(2) 特別研究委員会

- ・2015年8月1日(土) : 第2期特別研究委員会 活動開始
- ・2015年9月30日(水) : 第1期特別研究委員会 活動報告書の受領、その後理事会で承認
- ・2016年4月1日(金) : 「文化財・世界遺産のアクセシビリティに関する特別研究委員会」の発足ならびに活動開始(2016年3月22日(火) : 理事会承認)
これにより第二期特別研究委員会12委員会体制となる

1-2-1 (1) 震災復興支援・住宅特別研究委員会 委員長 狩野 徹

(1) 委員会

- ・2015年8月7日(金) : 第1回委員会開催 16時~16時45分 <東京大学柏キャンパス第2総合研究棟2階> 202会議室 参加者 : 3名 内容 : 今年度の計画について
- ・2015年9月24日(木) : 第2回委員会開催 18時~20時 <東洋大学 朝霞キャンパス 会議室> 参加者 : 5名 内容 : 10月の被災地視察について

(2) 被災地調査

2015年10月24日(土)~25日(日) <宮古市> 参加者 : 4名

内容 : 1) 宮古市八木沢災害公営住宅視察(24日)

2) 宮古市本町災害公営住宅視察(25日)

3) 「震災後の障がい者支援の状況について(報告)」(25日)

場所 : はあとふるセンターみやこ

報告者1 レインボーネット事務局次長 加藤 伸二

報告者2 都地区チャレンジ度就業・生活支援センター 港 直司

4) 「仮設住宅住民との情報交換会」(25日)

場所 : 宮古市田老サポートセンター 対応者 : LSA 西川氏+仮設住宅住民4名

1-2-1 (2) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿芳則

- ・2015年8月7日(土) : 研究討論会「福祉のまちづくりにおける障害者差別解消法の役割と合理的配慮」(東大柏キャンパス)
- ・2015年11月10日(火) : 勉強会「障害者差別解消法の国土交通省の対応指針について」(TOTO 新宿) 参加

人数 10名

- ・2016年3月9日(水)：見学会「二子玉川東地区再開発(ライズ)見学会」(二子玉川ライズ) 参加人数 15名

1-2-1 (3) 子育て子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 植田瑞昌

- ・2015年4月20日(金)：委員会顔合わせ会(日本大学) 参加人数 5名
- ・2015年8月6日(木)：委員会打ち合わせ(文京シビックセンター) 参加人数 7名
- ・2015年8月6日(木)：公開研究会「バリアフリー・ユニバーサルデザインに子育て・子育てをどう取り込むか」(文京シビックセンター)
参加人数26名(他保育士2名、保育幼児3児)
- ・2015年9月15日(火)：委員会打ち合わせ(日本大学) 参加人数 5名
- ・2015年10月24日(土)：セミナー「子育て環境とマーク/サイン～正しい理解と普及のために～」(日本大学)
参加費一人500円(学生無料)
参加者26名(他保育士2名、保育幼児3名)
- ・2015年11月20日(金)：委員会打ち合わせ(日本大学) 参加者5名
- ・2016年1月8日(金)：委員会打ち合わせ(日本大学) 参加者5名(1名スカイプ)
- ・2016年2月：子育て・子育てバリアフリー教室用テキスト 改訂作業
(以下「こそまちテキスト」とする)
- ・2016年3月10日(木)：文京区柳町第一、二、三育成室、柳町児童館 見学会(3名)
- ・2016年3月14日(月)：こそまちテキスト 改訂 入稿及び印刷
- ・2016年3月23日(水)：勉強会「まちと育つ まちで育つ 新しい保育の制度と環境(日本大学)
参加人数12名 参加費無料
- ・2016年3月31日(木)：こそまちテキスト 納品500冊

1-2-1 (4) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

(1) 委員会開催

- ・2015年4月17日(金)：第8回委員会(日本大学駿河台校舎1号館2階会議室) 話題提供：大野央人委員(鉄道総合技術研究所) テーマ「視覚障害者誘導用ブロック敷設方法の検討」、検討事項：全国大会研究討論会、連続セミナーについて
- ・2015年7月2日(木)：第9回委員会(日本大学駿河台校舎1号館2階会議室) 話題提供：小林章委員(国立障害者リハビリテーションセンター学院) テーマ「中途視覚障害者のorientation & mobilityにおける可能性」、検討事項など：新委員の自己紹介、全国大会研究討論会、連続セミナーについて
- ・2015年9月28日(月)：第10回委員会(日本大学駿河台校舎5号館2階会議室) 話題提供：桑波田謙委員(クワハタデザインオフィス) テーマ「デザイナーが考える点字ブロックの課題と解決方法」、検討事項：連続セミナーについて
- ・2015年12月3日(木)：第11回委員会(日本大学駿河台校舎1号館2階会議室) 話題提供：沢田大輔委員(交通エコロジー・モビリティ財団) テーマ「公共交通機関のバリアフリーの現状と課題」、検討事項：連続セミナーについて
- ・2016年3月11日(金)：第12回委員会(東京大学本郷キャンパス工学部1号館3階会議室) 話題提供：なし、検討事項：連続セミナー、全国大会研究討論会について

(2) 勉強会、研究会、講習会

- ・2015年8月9日(日)：全国大会研究討論会・第4回公開研究会「これからの時代の情報技術を考える」(東京大学柏の葉キャンパス)
- ・2016年2月18日(木)：バリアフリーと音出版記念講習会(中央大学後楽園キャンパス2号館) ※日本騒

音制御工学会との共催

- 2016年3月11日(金)：第1回連続セミナー「みること」(東大学本郷キャンパス)
- (3) その他 ※空港における情報UD検討会に専門技術委員として幹事団が参加
- 2015年5月25日(月)：東京国際空港バリアフリー・サービストライアルステアリング会議・技術勉強会(東京国際空港国際線PTB会議室)
- 2015年6月22日(月)：羽田情報UD検討会(中央大学後楽園キャンパス3号館12階会議室)
- 2015年7月7日(火)：東京国際空港バリアフリー・サービストライアル検討会(東京国際空港国際線PTB会議室)
- 2015年11月26日(木)：空港における情報UD検討会(東京国際空港国際線PTB会議室)
- 2016年1月8日(金)：空港の情報UD検討会 NTT(中央大学後楽園キャンパス)
- 2016年2月3日(水)：空港の情報UD検討会 NTT(中央大学後楽園キャンパス)
- 2016年3月8日(火)：空港の情報UD検討会 NTT(中央大学後楽園キャンパス)

1-2-1 (5) 情報・コミュニケーション特別研究委員会 委員長 須田裕之

- 2015年8月8日(土)：第1回委員会(東京大学柏キャンパス) 参加人数 13名
- 2015年10月6日(火)：第2回委員会(第一生命経済研究所会議室) 参加人数 8名
- 2015年11月7日(土)：第1回「まちづくりにおける情報・コミュニケーション勉強会&見学会」『聴覚障害者スポーツの設備や観戦を考える』(筑波技術大学 天久保キャンパス) 参加人数 23名
- 2016年2月4日(木)：第3回委員会(第一生命経済研究所会議室) 参加人数 8名

1-2-1 (6) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

- 2016年1月5日(火)：第2回研究会(中央大学研究開発機構) 参加人数 10人
- 2016年3月24日(木)：フォーラム「ムーバス20周年を契機に考えるこれからの地域交通」(武蔵野スイングホール) 参加人数 100人

1-2-1 (7) 国際特別研究委員会 委員長 北川博巳

- 2015年8月22日(土)：公開勉強会(イラン/カラジ市におけるBFまちづくり支援の報告2012~2015、講師：寺島薫氏(㈱アークポイント))(常翔学園大阪センター302教室)、参加人数 17名
- 2016年1月22日(金)：ロンドン大学との情報交換ミーティング、北川・渋谷・宮地委員参加
- 2016年2月26日(金)：アジア大都市における高齢者・障害者の移動最前線~香港、台北、ソウルの事例から~への協力(交通エコロジー・モビリティ財団主催)の協力、猪井委員
- 障害のある子供たちへの通学問題についてレポート作成、土橋委員

1-2-1 (8) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中直人

(1) 研究会

- 2015年11月7日(土)：サイン環境研究シリーズ
研究会「まちの色のサインを考える」(常翔学園大阪センター)、参加：24名
- 2016年2月20日(土)：サイン環境研究シリーズ
研究会「基礎から考える音サイン環境」(金沢工業大学)、参加：33名

(2) 委員会・幹事会

- 2015年6月23日(火)：幹事会(摂南大学)
- 2015年7月13日(月)：平成27年度第1回委員会(大阪市立大学文化交流センター)
- 2015年7月21日(水)：平成27年度第2回委員会(メール審議)
- 2015年8月10日(火)：幹事会(摂南大学)

- ・2015年8月22日(土)：平成27年度第3回委員会(大阪市立大学文化交流センター)
- ・2015年11月7日(土)：平成27年度第4回委員会(常翔学園大阪センター)
- ・2015年12月5日(土)：平成27年度第5回委員会(大阪市立大学文化交流センター)
- ・2016年2月20日(土)：平成27年度第6回委員会(金沢工業大学)

1-2-1 (9) 住まいと福祉コミュニティ特別研究委員会 委員長 水村 容子

- ・2015年10月15日(木)：第1回 都市計画コンサルティング協会共同勉強会(中央大学)
 テーマ：「地域における“終の棲家”に実現のために必要な条件とは」
 講師：秋山正子(暮らしの保健室) 日本における実践事例「暮らしの保健室での実践と在宅での看取り」
 :水村容子 海外における実践事例「スウェーデン(あるいはオランダ)における最後まで住み続ける社会の仕組み」
- ・2015年11月24日(火)：第2回 都市計画コンサルティング協会共同勉強会(中央大学)
 テーマ：「立地適正化計画と福祉」
 講師：鎌田 秀一氏(国土交通省 都市局 都市計画課 施設計画調整官)
 「医療・福祉施設や住まいなどの立地のコンパクト化と公共交通網の配置の考え方について」

1-2-1 (10) 住民参画・社会環境特別研究委員会 委員長 長野博一

- ・2015年7月23日(木)：初回委員会打ち合わせ(交通エコロジー・モビリティ財団会議室) 参加人数 10人
- ・2015年11月8日(日)：第3回バリアフリーフェスタかながわ(アリオ橋本) 見学会
 内容：多様な主体が出展参画し、バリアフリーに特化したイベントであるため、委員会として状況を把握し、訪れる住民が触れ合う様子を見学する。
- ・2015年12月19日(土)：住民参画・社会環境特別研究委員会 第1回公開研究会
 内容：テーマ『福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題 その1』
 講演：「社会資本整備におけるパブリック・インボルブメント」
 東京理科大学理工学部 教授 寺部慎太郎氏
 話題提供：①遠藤俊太郎氏(一般財団法人運輸調査局)
 「ドイツ・カッセル市における将来交通計画の策定と住民参加」
 ②別府知哉氏(八千代エンジニアリング株式会社)
 「国道6号(柏)における多様な市民参加によるみちづくりの話題」
 委員会報告：バリアフリーフェスタかながわ見学会の様子
 会場：日大駿河台キャンパス1号館 時間：14時~17時 参加人数：44人
- ・2016年3月12日(土)：住民参画・社会環境特別研究委員会 第2回公開研究会
 内容：テーマ『福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題 その2』
 講演：「地域まちづくりの実践と都市計画・まちづくりの研究
 —名古屋市中区錦二丁目および名東区藤巻町の事例から—」
 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授 村山顕人氏
 パネルディスカッション：『福祉のまちづくりにおける住民参加・参画の課題と展望』
 パネリスト：国交省総合政策局安心生活政策課 堀内雄太氏
 世田谷区都市整備部都市デザイン課 水野幸氏大和ハウス工業株式会社 久保智紗子氏
 八千代エンジニアリング株式会社 上田真紀子氏
 コメンテーター：東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 村山顕人氏
 コーディネーター：長野博一(住民参画・社会環境特別研究委員長/荒川区)
 会場：東洋大学白山キャンパス1号館 時間：14時~17時 参加人数：30人

1-2-1 (11) 各種国家資格試験での障害者特別措置に関する特別研究委員会 委員長 田中 賢

- ・2015年8月7日(金):特別研究委員会第1回打ち合わせ(東京大学柏キャンパス)参加者:3名
内容:委員会の進め方、第1回セミナーについての意見交換
- ・2015年12月5日(土):第1回障害者特別措置セミナー(中大後楽園キャンパス6号館)参加者:10名
テーマ:「障害者の学び・仕事・資格について考える」
講師:障害者欠格条項をなくす会事務局長 臼井久実子氏(手話通訳同事務局 瀬山紀子氏)
日本福祉大学 渡辺崇史氏(本学会員)
- ・2016年3月13日(日):東海北陸支部との共同開催勉強会(日本福祉大学東海キャンパス(愛知県)S-308教室)参加者:24名
テーマ:「合理的配慮～資格試験での実情は?」講師:東京大学 上野俊行氏(本学会員)

1-3: 支部

1-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- (1) 北海道支部総会:2015年5月16日(土)(会場:一般社団法人北海道開発技術センター)
- (2) 第10回北海道ユニバーサル上映映画祭及び上映会<共催行事>
2015年6月21日(日):七飯上映会(会場:七飯町文化センター)
2015年9月26日(土)~27日(日):映画祭(会場:北斗市総合文化センターかなで~る)
2015年11月29日(日):函館上映会(会場:函館市総合福祉センター)
- (3) 障がい者スポーツふれあいフェスティバル<後援>:
2015年11月1日(日)(会場:札幌市東区体育館)
- (4) 全国大会実行委員会(札幌)の開催 全8回 【内容】2016年全国大会打合せ
・7月15日(水):10月29日(水):11月12日(水):12月3日(木):1月14日(木):2月19日(金):
3月3日(木):3月17日(木)

1-3-2 東北支部 支部長 岡 正彦

- ・2016年2月13日(土):防災スキルアップ研修会(東北福祉大学仙台駅東口キャンパス)
参加人数50名

1-3-3 関東甲信越支部 支部長 高橋 儀平

- ・2015年5月30日(土):総会(日本女子大学) 参加人数19名
支部規則改正、2014年度決算報告、2015年度役員承認、2015年度事業計画等を審議
- ・2015年7月14日(火):役員会(東洋大学) 参加人数12名
2015年度事業計画審議
- ・2015年7月14日(火):第1回研究会、緊急企画「高齢者の『住まいの貧困』を考える」講師:藤田孝典氏、
参加人数20名
- ・8月7日(金)~9日(日)まで2015年度全国大会(東京大学柏キャンパス)開催、詳細は別途大会報告にて。
- ・2015年10月16日(金):第2回研究会「建築設計標準—劇場・競技場等の設計標準改訂版—」報告者:沼尻恵子(国土技術研究センター)、補足意見佐藤克志(日本女子大)、山崎 涼子(DPI 日本会議)、高橋儀平、
参加人数25名
- ・2015年10月16日(金):2015年度全国大会実行委員会の反省会(東洋大学)、参加人数30名
- ・2015年12月17日(木):第3回研究会「信州長野における福祉のまちづくりの現状と課題」(長野市生涯学習センター)、長野県地域福祉課山崎尊司氏、NPO法人ヒューマンネットながのの川崎昭仁氏、一般社団法人信州いいやま観光局出澤敏明氏、参加者人数20名
- ・2015年12月19日(土):若手研究者の交流会(東洋大学)、参加人数10名

1-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- 2015年4月12日(日):東海北陸支部2015年度総会(名古屋都市センター 第1会議室)
総会:2014年度活動報告・会計報告案並びに2015年度活動計画・予算案 参加者:14名
- 2015年5月18日(月):車椅子バス利用研究会(名古屋金山ホテル 会議室C)
内容:役割分担と調査内容について 参加者:5名
- 2015年7月6日(土):車椅子バス利用研究会(豊田都市交通研究所 大会議室)
内容:調査案の報告と議論 参加者:9名
- 2015年7月25日(土):車椅子バス利用研究会・現状報告会(大同大学・滝春キャンパス S0205室)
内容:アンケート調査票の報告と議論 参加者:16名
- 2015年7月25日(土):東海北陸支部 第3回研究・活動発表会(大同大学・滝春キャンパス S0205室)
内容:東海北陸支部会員が行っている福祉のまちづくりに関する研究、活動等の報告 参加者:16名
- 2015年9月5日(土):車椅子バス利用研究会(安保ホール)
内容:各調査の進捗報告と議論 参加者:11名
- 2015年11月15日(日):車椅子バス利用研究会(名古屋都市センター 第5会議室)
内容:アンケート調査の結果報告 参加者:10名
- 2015年11月15日(日):名古屋駅のユニバーサルデザインを考えるセミナー
内容:障害当事者による調査結果を基に名古屋駅整備の課題解決のためのヒントを探る
(名古屋都市センター 特別会議室) 参加者:51名
- 2015年12月20日(日):セントレアの経験を語り継ごう
共催:愛知県重度障害者の生活をよくする会
内容:第1部講演会「中部国際空港ができてきた経緯」、第2部 空港見学会 参加者:32名
- 2016年1月31日(日):車椅子バス利用研究会(豊田都市交通研究所大会議室)
内容:アンケート調査の分析報告、実態調査の結果報告 参加者:10名
- 2016年2月20日(土):基礎から考える音サイン環境セミナー 参加者:33名
共催:サイン環境特別研究委員会(金沢工業大学扇が丘キャンパス イノベーションホール)
- 2016年3月13日(日):日本福祉大学東海キャンパス見学会(日本福祉大学東海キャンパス)
内容:2017年度開催予定の全国大会の会場候補として下見を兼ねて 参加者:14名
- 2016年3月13日(日):東海北陸支部2016年度総会(日本福祉大学東海キャンパス S-308教室)
総会:2015年度活動報告・会計報告案並びに2016年度活動計画・予算案 参加者:14名
- 2016年3月13日(日):合理的配慮に関する考察と実例に関する勉強会
共催:各種国家資格試験での障害者特別措置に関する特別研究委員会
(日本福祉大学東海キャンパス S-308教室) 参加者:25名

1-3-5 関西支部 支部長 岡田 明

- 2015年4月13日(月):2015年度支部役員会(谷岡学園梅田サテライトオフィス)
- 2015年5月12日(火):2015年度支部総会(谷岡学園梅田サテライトオフィス)
- 2015年7月24日(金):兵庫ユニバーサル社会づくり推進大会・第23回福祉のまちづくりセミナー:日本福祉のまちづくり学会関西支部・ひょうごアシステック研究会後援、兵庫県公館1階大会議室, 254名
- 2015年8月22日(土):第42回福祉のまちづくり関西セミナー&国際特別研究委員会公開勉強会「イラン／キャラジ市におけるBFまちづくり支援の報告2012-2015 ~ NPO法人イランの障害者を支援するミントの会(略称:ミントの会)の事業として」「当事者参加によるバリアフリーの到達点と今後の課題」常翔学園大阪センター302教室, 17名
- 2015年11月7日(土):日本福祉のまちづくり学会サイン環境特別研究委員会との共催:研究会「まちの色のサインを考える」常翔学園大阪センター

- ・2016年2月24日(水):交通エコロジー・モビリティ財団との共催:ワークショップ「日本,香港の高齢者・障害者の移動(STS・バリアフリー化)の現在と将来」関西STS,28名

1-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- ・2015年5月14日(木):支部幹事会(広島文化学園大学) 5名
- ・2015年7月11日(土):支部幹事会(サテライトキャンパスひろしま) 6名
- ・2015年7月11日(土):2015年度支部総会(サテライトキャンパスひろしま) 10名
- ・2015年7月11日(土):セミナー(サテライトキャンパスひろしま) 20名
- ・2015年12月21日(月):支部幹事会(広島文化学園大学) 5名
- ・2016年3月12日(土):支部幹事会(サテライトキャンパスひろしま)
- ・2016年3月12日(土):2015年度(第1回)日本福祉のまちづくり学会中国四国支部研究・活動発表会(サテライトキャンパスひろしま)

1-3-7 九州沖縄支部 支部長 岩浦厚信

- ・2015年10月31日(土):西日本国際福祉機器展実行委員会、九州沖縄支部共催シンポジウム(西日本総合展示場) 参加約80人(講師:会員2人、非会員2人)
- ・2015年10月31日(土):九州沖縄支部総会(西日本総合展示場会議室) 参加5人
- ・2015年10月31日(土):研究発表大会(西日本総合展示場) 発表4人参加10人

1-4: 理事会開催報告

- ・第1回理事会 2015年6月13日(土)13時~ 日本大学駿河台キャンパス 出席理事20名
- ・第2回理事会 2015年8月7日(金)17時~18時30分 東京大学柏キャンパス 出席理事16名
- ・第3回理事会 2015年11月7日(土)14時~17時 中央大学後樂園キャンパス 出席理事18名
- ・第4回理事会 2016年3月22日(火)17時~20時 日本大学駿河台キャンパス 出席理事16名
- ・メール理事会3回開催: 2015年6月25日、2015年10月10日、2015年12月18日

1-5: 第18回全国大会報告(柏)

■ 日本福祉のまちづくり学会第18回全国大会は、千葉県柏市において平成27年度8月7日から9日までメイン会場を「東京大学柏キャンパス」に、市民公開シンポジウムを「柏の葉カンファレンスセンター」において開催された。市民参加も含めて約360名の方に大会参加を得て、各プログラムとも盛況のうち無事終了することが出来た。

■大会テーマ 「長寿社会のまちづくり:すべての人がいきいきと暮らせるまちづくり」

■開催概要 名称:一般社団法人日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会(柏)

大会長:大和裕幸(東京大学理事・副学長)

実行委員長:鎌田実(東京大学教授)

■開催期間 2015年8月7日(金)~8月9日(日)

■参加者数:一般会員 218名・学生会員15名・非会員39名・学生非会員15名・公開シンポジウム 約150名

※詳細報告は会誌Vol.17, No.3に掲載済

第18回全国大会報告(柏) 決算報告

日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会(柏) 【大会収入の部】							
項目		単価	数量	金額	合計	備考	
収入	参加費	一般正会員(事前登録)	7,000	195	1,365,000		
		一般正会員	8,000	23	184,000		
		一般非会員	10,000	39	390,000		
		学生正会員(事前登録)	2,000	15	30,000		
		学生正会員	3,000	0			
		学生非会員	4,000	15	60,000		
					287		
		合計				2,029,000	
	交流会費	一般	5,000	75	375,000		
		学生	3,000	6	18,000		
合計					393,000		
出展・協賛	企業協賛金	一式		575,000			
CD売上	CD	2,000	1	2,000			
弁当代	弁当(お茶つき)	1,000	64	64,000			
	合計				641,000		
本部支援費・開催助成	本部支援費			2,371			
	合計				2,371		
収入総合計					3,065,371		

日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会(柏) 【大会支出の部】							
項目		単価	数量	金額	合計	備考	
支出	会場費	カンファレンスセンター	一式		264,200		三井不動産支援による割引後
		東京大学			0		
		合計				264,200	
	印刷費	ちらし・ポスター印刷費	一式		25,582		内872円は送料
		大会プログラム印刷費	一式		75,225		内3238円は送料
		大会論文集CD制作費			0		本部で支払い
		デザイン代	一式		45,000		デザイン2件、編集1件
		合計				145,807	
	シンポジウム	出演者謝金・旅費	一式		41,318		内4084円源泉徴収税額
		冊子印刷費	一式		129,384		内864円振込手数料
郵送		一式		3,248			
	合計				173,950		
研究討論会費	発表者謝金・旅費	一式		145,780		内7147円源泉徴収税額	
	発表者用飲料	一式		2,284			
	合計				148,064		
見学会	見学会お礼	1,080	3	3,240		手土産の菓子	
	IOGサロン用飲料	一式		1,062			
	合計				4,302		
情報保障費及び保育費	情報保障費	一式		225,940			
	保育費	一式		66,611		内864円振込手数料	
	合計				292,551		
交流会費	飲食費	一式		407,000		内5000円司会者謝金	
	演奏演出謝金	一式		60,432		内432円振込手数料	
	合計				467,432		
アクセス費	借り上げバス	一式		108,292		内432円振込手数料	
	合計				108,292		
運営費	アルバイト人件費	一式		644,982		内475円源泉徴収税額	
	名札作成経費	一式		17,729			
	会議費	一式		35,000			
	事務局補助	一式		15,000		請求書発送補助	
	郵送費	一式		25,079			
	Tシャツ	一式		65,340		内864円振込手数料	
	弁当および飲料	一式		179,070		参加者申込分+スタッフ弁当、会場用飲料	
	実行委員旅費等	一式		147,647			
	事務用品等	一式		72,162		プリンタトナー等消耗品	
	保険	一式		51,764		内864円振込手数料	
		合計				1,253,773	
お礼等	実行委員謝礼	5,000	39	195,000			
	IOG関係謝礼	3,000	4	12,000			
	合計				207,000		
支出総合計					3,065,371		

議案-2 平成27年度 決算報告

収支計算書

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日まで

(単位:円)				
科 目	予算額	実績	差異	執行状況
I 収入の部				
1. 会費収入	7,280,000	6,785,000	-495,000	93.2%
正会員	7,000,000	6,467,000	-533,000	92.4%
学生会員	180,000	166,000	-14,000	92.2%
入会金	100,000	152,000	52,000	152.0%
2. 賛助会員会費	900,000	710,000	-190,000	78.9%
賛助会員	900,000	710,000	-190,000	78.9%
3. 事業収入	5,190,000	4,819,509	-370,491	92.9%
委員会・総会・講演会・研究会等参加費(懇親会費含む)	70,000	162,000	92,000	231.4%
会誌等刊行物販売(会誌購読含む)	300,000	173,220	-126,780	57.7%
広告収入	50,000	30,000	-20,000	60.0%
論文掲載料・査読料	310,000	238,100	-71,900	76.8%
研究受託費(羽田プロジェクト、IPC)	1,000,000	1,080,000	80,000	108.0%
全国大会収入	3,430,000	3,063,000	-367,000	89.3%
支部収入	30,000	73,189	43,189	244.0%
4. 寄付金収入	200,000	0	-200,000	0.0%
5. 前年度繰越金	6,995,619	6,995,619	0	-
6. 雑収入(利息等)	30,000	519	-29,481	1.7%
収入合計	20,595,619	19,310,647	-1,084,972	93.8%
II 支出の部				
1. 事業費	12,212,269	7,409,152	-4,803,117	60.7%
受託研究事業費(羽田プロジェクト、IPC)	1,000,000	0	-1,000,000	0.0%
全国大会事業費	3,930,000	3,065,371	-864,629	78.0%
受付システム構築・概要集CDR作成	1,280,000	1,259,232	-20,768	98.4%
学術 特別研究委員会事業費	1,570,000	498,394	-1,071,606	31.7%
国際: 英文マガジン	300,000	0	-300,000	0.0%
オリパラ研究会	100,000	0	-100,000	0.0%
連続セミナー	200,000	0	-200,000	0.0%
学会賞事業費	270,000	292,823	22,823	108.5%
会誌 学会誌Vol.17-No.2、No.3、Vol.18-No.1	1,350,000	1,383,264	33,264	102.5%
論文 査読者謝金、通信、抜刷作成等	310,000	255,995	-54,005	82.6%
総務 ホームページ維持管理	100,000	12,722	-87,278	12.7%
学会変更登記手数料	100,000	72,130	-27,870	72.1%
総会・理事会運営費(セミナー講師謝礼、資料代等)	130,000	146,326	16,326	112.6%
新リーフレットの印刷費	150,000	54,000	-96,000	36.0%
支部 事業費	1,412,269	268,895	-1,143,374	19.0%
JD年会費・入会金	10,000	100,000	90,000	1000.0%
2. 管理費	5,135,000	4,396,163	-738,837	85.6%
事務局本部人件費	1,500,000	1,151,228	-348,772	76.7%
事務委託費	1,795,000	2,000,983	205,983	111.5%
備品・消耗品費	60,000	20,483	-39,517	34.1%
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	100,000	70,899	-29,101	70.9%
役員等交通費: 総会、理事会、幹部会等	1,580,000	1,081,730	-498,270	68.5%
税務処理費	70,000	70,000	0	100.0%
事務諸経費(会議費、雑費)	30,000	840	-29,160	2.8%
3. 積立金および積み立て繰入支出	200,000	200,000	0	100.0%
4. 予備費	500,000	3,000	-497,000	-
当年度支出合計	18,047,269	12,008,315	-6,038,954	66.5%
当年度収支差額	2,548,350	7,302,332		
次年度繰越金	2,548,350	7,302,332		

※受託研究事業費(羽田プロジェクト、IPC)について収入は2015年度、支出は2016年度

貸借対照表

平成28年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
		合	計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,168,335		
前払費用	250,000		
未収金	25		
流動資産合計			7,418,360
2. 固定資産			
積立金	3,100,000		
固定資産合計			3,100,000
資産合計			10,518,360
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	28		
会費前受金	116,000		
流動負債合計			116,028
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			116,028
III 正味財産の部			
正味財産			10,402,332
(うち基本金)			(0)
(うち当期正味財産増減額)			506,713
負債及び正味財産合計			10,518,360

財 産 目 録

平成 28年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	細 目	金 額	
		一般勘定	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
	(1) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行青葉台支店	210,357	
	北海道支部	36,466	
	東北支部	40,003	
	関東支部	360,244	
	東海北陸支部	30,922	
	関西支部	39,225	
	中国四国支部	212,334	
	九州支部	37,595	
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	272	
	(2) 郵便口座		
	(会費口)	6,157,798	
	(3) 事務局預かり金	43,119	
	(4) 未収金	25	
	(5) 前払費用	250,000	
	流動資産合計		7,418,360
2. 固定資産			
(1) 積立金			
	(1) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	3,100,000	
	固定資産合計		3,100,000
資 産 合 計			10,518,360
II 負債の部			
1. 流動負債			
	(1) 会費前受金	116,000	
	(2) 未払金	28	
	流動負債合計		116,028
2. 固定負債			
	固定負債合計	0	
負 債 合 計			116,028
正 味 財 産			10,402,332

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金預金、未収金、前払費用、未払金、会費前受金を含めることにしている。

2. 次年度繰越金の内容は、次の通りである。

科 目	当期末残高
現金預金	7,168,335
未収金	25
前払費用	250,000
未払金	(28)
会費前受金	(116,000)
次期繰越収支差額	7,302,332

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によって行っている。

正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	6,785,000	6,420,000	365,000
正会員	6,467,000	6,145,000	322,000
学生会員	166,000	171,000	△ 5,000
入会金	152,000	104,000	48,000
法人会費	710,000	735,000	△ 25,000
法人会員	0	650,000	△ 650,000
賛助会員	710,000	80,000	630,000
入会金	0	5,000	△ 5,000
事業収益	4,819,509	2,700,845	2,118,664
講演会・研究会による参加費	162,000	65,877	96,123
刊行物販売等	173,220	250,109	△ 76,889
広告収益	30,000	0	30,000
論文掲載料・査読料	238,100	214,792	23,308
研究委託費	1,080,000	0	1,080,000
全国大会収益	3,063,000	2,150,067	912,933
支部収益	73,189	20,000	53,189
受取寄付金	0	600,000	△ 600,000
雑収益	519	30,610	△ 30,091
経常収益計	12,315,028	10,486,455	1,828,573
(2) 経常費用			
事業費	7,409,152	6,029,887	1,379,265
全国大会事業費	3,065,371	2,325,556	739,815
受付システム構築・概要集CDR作成費	1,259,232	0	1,259,232
講習会等	0	58,500	△ 58,500
学術特別研究委員会事業費	498,394	536,763	△ 38,369
JD年会費・入会金	100,000	100,000	0
震災復興活動支援費	0	296,000	△ 296,000
学会賞事業費	292,823	69,198	223,625
会誌	1,383,264	1,715,716	△ 332,452
論文査読者謝金、通信、抜刷作成等	255,995	175,000	80,995
ホームページ維持管理	12,722	12,333	389
新リーフレットの印刷費	54,000	0	54,000
選挙関連費用	0	312,682	△ 312,682
学会変更登記手数料	72,130	0	72,130
支部事業費	268,895	408,139	△ 139,244
総会・理事会運営費	146,326	20,000	126,326
管理費	4,396,163	4,323,671	72,492
事務局本部人件費	1,151,228	1,180,345	△ 29,117
事務委託費	2,000,983	2,076,276	△ 75,293
備品・消耗品費	20,483	54,672	△ 34,189
印刷費	0	34,686	△ 34,686
通信費	70,899	102,380	△ 31,481
交通費	1,081,730	777,837	303,893
税務処理費	70,000	70,000	0
事務諸経費	840	27,475	△ 26,635
予備費	3,000	26,260	△ 23,260
経常費用計	11,808,315	10,379,818	1,428,497
評価損益等調整前当期経常増減額	506,713	106,637	400,076
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	506,713	106,637	400,076
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前年度大会支援収益	0	250,000	△ 250,000
経常外収益計	0	250,000	△ 250,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	250,000	△ 250,000
当期一般正味財産増減額	506,713	356,637	150,076
一般正味財産期首残高	9,895,619	9,538,982	356,637
一般正味財産期末残高	10,402,332	9,895,619	506,713
II 正味財産期末残高	10,402,332	9,895,619	506,713

議案-3 監査報告

※総会の配布資料には押印入り

監 査 報 告 書

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会

会長 秋山 哲男 殿

作成日 平成 年 月 日

監事 ⑩

監事 ⑩

監査事項

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会の監事として一般社団法人及び一般財団法人に関する法律にもとづく、会計監査及び業務監査を実施した。

会計監査の結果

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の会計帳簿および財務諸表等につき一般に認められた会計監査の基準にしたがって照合実査、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

- 1) 正味財産増減計算書は、会計基準のフォーマットに合わせて作成されている。
- 2) 財産目録および貸借対照表に記載の諸資産が正しく保全され正確な会計処理がなされている。
- 3) 会計帳簿・伝票等・会計関係書類一式が、適正に保管され正確な会計処理がなされている。

業務監査報告

理事の業務執行状況を監査するため、理事会に出席するとともに、理事から業務執行の状況を聞き、重要な決済書類を閲覧し、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。
理事の業務執行は合法適正に行われ、不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はない。

監事の意見

上記監査結果にもとづき監事は財務諸表等及び財産目録が当学会の財産及び正味財産増減の状況を適正に表示しており、且つ理事の業務執行は適正に行われているものと認める。

議案-4 平成28年度 事業計画案

5-1: 常設委員会

4-1-1 総務委員会 委員長 池田 典弘

- (1) 予算及び事業計画の立案と社員総会の運営
- (2) 定期的な委員会の開催
 - ・会長、事務局長等との意見交換及び調整について
 - ・会員の増員のための検討について
- (3) 購読会員の勧誘のための各大学、外郭団体への活動実施を進める。
- (4) 策定規定類について、引き続き内容を精査し改定すべき個所の改正を進める。
- (5) 委託事務局の国際文献社との調整

4-1-2 論文委員会 委員長 狩野 徹

- (1) 論文集の発行
- (2) 査読の実施
- (3) 査読体制の充実（4月より委員の追加・補充2名）

4-1-3 学会賞選考委員会 委員長 磯部 友彦

- (1) 第7回学会賞（市民活動賞）授賞式2016年8月5日 全国大会（函館）初日予定
- (2) 第3回 大会賞選考および表彰 選考実施 2016年8月6日～7日 函館全国大会
- (3) 第8回学会賞（学術賞、市民活動賞）募集 2017年1月

4-1-4 会誌委員会 委員長 澤田 大輔

- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.18 No.2 7月15日発行

→J-STAGE 対応のため会誌本文と論文のページ設定変更予定

函館大会直前案内

特集1：音のバリアフリー、視覚障害者と音サイン環境（仮）

特集2：特別研究委員会の活動から

- 1) 各種国家資格試験での障害者特別措置に関する特別研究委員会
- 2) 震災復興支援・住宅特別研究委員会

- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.18 No.3 11月15日発行→J-STAGE 対応のため印刷事業者変更予定

特集1：函館大会開催報告

特集2：特別研究委員会の活動から

- 1) 住まいと福祉コミュニティ特別研究委員会
- 2) 法制度特別研究委員会

- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.19 No.1 3月15日発行

特集：特別研究委員会の活動から

- 1) 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会
- 2) 身体と空間特別研究委員会

4-2: 学術研究委員会

4-2-1 学術研究委員会 委員長 八藤後 猛

(1) コメンテーター付き論文の実施

2016年度全国大会（函館）論文発表においてコメンテーター付き論文、ならびに大会論文においては初の論文の形式審査の実施

(2) 学会ならびに学会員の学術研究の質的向上を目指し、若手研究者の育成を行う事業を計画

その一環として、今後の全国大会論文発表に関する発表形式、論文審査に関して引き続き検討

(3) 第三期特別研究委員会の募集を1月～2月に行い、3月理事会に諮問し、4月1日の新年度の活動開始を目指す

4-2-1(1) <「震災復興支援・住宅」特別研究委員会> 委員長 狩野 徹

(1) 委員会の開催 5月、9月、2月の3回を予定

(2) 被災地視察 10月を予定

(3) まとめのためのセミナー 2017年3月（東京都内を予定）

4-2-1(2) <「法制度」特別研究委員会> 委員長 男鹿芳則

・2016年6月下旬：第一回公開研究会 会場、内容ともに未定

・2016年10月下旬：見学会 見学先未定

・2017年1月下旬：第二回公開研究会 会場、内容ともに未定

4-2-1(3) <「子育て・子育てまちづくり」特別研究委員会> 委員長 植田瑞昌

(1) 年1回セミナーを開催

(2) 年3回勉強会を開催（障害児に関するまちづくり等）

(3) 子育て関係のマーク・サインに関する調査研究について分析を進める予定

(4) 当事者や子育て支援者向けに、子育て・子育てバリアフリー教室用テキスト（改訂版）を利用した勉強会を開催し、テキストの使用効果等について調査研究を行う予定

5-2-1(4) <「身体と空間」特別研究委員会> 委員長 原 利明

(1) 勉強会、研究会、講習会、セミナー開催

・2016年4月15日（金）：第2回連続セミナー「きくこと」 内容：きくことに関する基礎と高齢者・難聴者の聞こえ方、視覚障害者の音利用などを紐解く

・2016年5月20日（金）：第3回連続セミナー「みること-part2」 内容：色覚特性、視覚障害者の歩容に関する基礎的知見を紐解く

・2016年6月17日：第4回連続セミナー「さわること」 内容：触知覚のメカニズムや点字・触知図のユーザーニーズから見た情報内容、移動時の触知覚の活用とデザインなど基礎的知見を紐解く

・2016年7月22日：第5回連続セミナー「あるくこと」 内容：歩行のメカニズム移動に配慮したデザインの可能性など基礎的知見を紐解く

・2016年8月6日（土）：全国大会研究討論会・第5回公開研究会 内容：空港の情報UD化について考える

・2017年3月中旬：第6回公開研究会 内容：2016年度の連続セミナーを通しての議論

(2) その他

・2016年7月1日（金）：空港における情報UD検討会_中部国際空港見学会 内容：中部国際空港のUDについて講演と見学会※空港における情報UD検討会に専門技術委員として幹事団が参加

・上記以外に年4回の委員会を開催し、委員からの話題提供の元、議論を深める。

・空港における情報UD検討会での専門技術委員としてアドバイス及び関連する研究を行う

4-2-1(5) <「情報・コミュニケーション」特別研究委員会> 委員長 須田裕之

(1) 2016年11月予定：「まちづくりにおける情報・コミュニケーション勉強会」

- (2) 委員会を定期的(回/2ヶ月)に開催予定。
- (3) 委員会メンバーの研究活動における情報交換、共有を実施し、委員会としての支援や協力を進める。特に「障害者スポーツ」に関連した情報・コミュニケーションの在り方について検討を進める。
- (4) 学会HP等のアクセシビリティチェックを継続して検討する。

4-2-1(6) <「地域福祉交通」特別研究委員会> 委員長 吉田 樹

- ・2016年6月(予定): 地域福祉交通特別研究委員会 第3回研究会
- ・2016年8月6日(土): 全国大会研究討論会: 『情報』は地域公共交通を変革するか
- ・2017年1月(予定): 地域福祉交通特別研究委員会 第4回研究会

4-2-1(7) <「国際」特別研究委員会> 委員長 北川博巳

- (1) アクセシビリティに関するマガジンの編集(1~2号)
- (2) 公開勉強会の開催(バリアフリーの国際支援、障害と開発、その他便乗型など)
- (3) その他共催、後援、協力など随時実施
- (4) 委員会メンバーによる国際活動事例の紹介(勉強会か学会誌にて)

4-2-1(8) <「サイン環境」特別研究委員会> 委員長 田中直人

- (1) 委員会の開催6回予定。開催場所は原則大阪近辺(関西地区を予定している)
- (2) 研究会の開催
 - ・サイン環境研究シリーズとして、前年度の「色」「音」に引き続き、研究会を企画し、開催する予定である。

4-2-1(9) <「住まいと福祉コミュニティ」特別研究委員会> 委員長 水村容子

本特別研究委員会では、次年度以降においても、都市計画コンサルタント協会との共同のもと、多様な領域からの講師を招き、福祉コミュニティのあり方に関わる調査研究活動を展開する予定である。

4-2-1(10) <「住民参画・社会環境」特別研究委員会> 委員長 長野博一

- ・2016年7月中旬: 第3回公開研究会 内容: 障害理解(心のバリアフリー)を広げる
- ・2016年9月中旬: 勉強会 内容: 障害理解の実践
- ・2016年11月上旬: 見学会 内容: バリアフリーフェスタかながわ
- ・2016年12月中旬: 第4回公開研究会 内容: 住民参加事例の整理(研究発表)
- ・2017年3月中旬: 勉強会 内容: 未定

4-2-1(11) <「国家資格試験での障害者特別措置に関する」特別研究委員会> 委員長 田中 賢

セミナーや勉強会を開催し、主要な資格試験実施機関への聞き取り調査の実施、シンポジウム(報告会)の開催、報告書の作成、試験実施機関への学会としての提案文書の作成を目指す。

4-2-1(12) <「文化財・世界遺産のアクセシビリティに関する特別研究委員会」> 委員長 高橋儀平

- (1) 2016年度新規特別研究委員会としての位置づけ
2020東京オリンピック、パラリンピックの開催、後期高齢者の観光人口の増加、インバウンド観光客の急増、世界遺産の増加等の背景を踏まえ、①文化財保護とアクセシビリティの考え方、②その手法を検討し、③文化財アクセシビリティ・ガイドラインの作成を目指す。
- (2) 活動計画
 - ・文化財、世界遺産のアクセシビリティ・アンケート調査及び現地訪問調査の実施(7月~11月)
 - ・研究会の開催(7月、10月、12月)文化財、世界遺産視察を兼ねた研究会を開催

・活動報告会（公開研究会2月または3月）

4-2-2 オリンピック・パラリンピック特別委員会 委員長 秋山哲男

2.1 国際パラリンピックガイド（IPC）の翻訳と報告会

「IPC(国際パラリンピック委員会)のアクセシビリティガイド」の翻訳を、(公財)日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会から日本福祉のまちづくり学会が委託をうけて完成した。

各章の内容は以下の通りである。

第1章 はじめに

本書の主な目的、コンセプト、作成の根底にある基本原則を説明。本書の使命と目的が含まれており、障害者のみでなく、社会の相当な割合を占めるアクセシビリティ受益者の母集団についても言及。インクルーシブであることの3つの基本原則（公平、尊厳、機能性）が、アクセシビリティの主要コンセプトであるバリアフリー環境、ユニバーサルデザイン、アダプタブルデザインなどと共に説明されている。

第2章 技術仕様

アクセシビリティに関する技術仕様が詳細に記され、本書の参照部分としての役割を果たしている。テーマの分類は、都市環境の主要要素に従い、アクセスと移動経路、アメニティ、ホテル及びその他宿泊施設、輸送手段、刊行物とコミュニケーションが含まれる。

第3章 アクセシビリティトレーニング

OCOG(組織委員会)スタッフと大会ボランティアを対象とし、アクセシビリティと障害に関する「気づき」トレーニング、デザインアプローチ、主な内容、実施手順を記述。このトレーニングは、個人の態度やコミュニケーション上のバリアに対処することを目的とし、a) 障害者に対する一般的な接遇トレーニング、b) 大会/任務別の障害者に対するアクセシビリティトレーニング、c) 会場固有のアクセシビリティトレーニングの3段階から成る。

第4章 大会の要件

大会の社会的基盤（競技会場、選手村、競技会場以外の場所）に関する要件を説明。さらに、OCOGの各ファンクショナルエリアの計画と運用面、全体的観点から、またパラリンピック大会固有のものについて、アクセシビリティを考慮すべき事柄も論じている。

第5章 アクセシブルでインクルーシブな開催都市と大会を目指して

大会の立候補都市・招致に成功した都市が、全ての利害関係者にアクセシブルでインクルーシブな大会を保証し、市民には持続的な恩恵を確保するために取り組むべき基本原則と主要要素を説明。この取り組みは、市民や来訪者が「大会の共有体験」を実現する全活動に完全に参加する機会を提供するためのものである。

1.2 全国支部開催

以下の各支部開催は、関東甲信越支部を皮切りに、翻訳者が分担して全国を巡る。

(1) 関東甲信越支部

日時：2016年5月10日(火) 18:00～20:30 参加者80名

：2016年5月16日(月) 18:00～20:30 参加者85名

場所：中央大学5号館5135室(両日とも同じ内容、同じ部屋です)

(2) 北海道支部

日時：2016年6月11日(土) 15:00～16:30

場所：(一社)北海道開発技術センター 大会議室

(3) 東北支部

日時：2016年6月11日(土) 15:00～16:30

場所：東北福祉大学・仙台駅東口キャンパス

(4) 九州沖縄支部

日時：2016年6月14日(火) 18:00～20:00 参加者15名

場所：西九州大学・佐賀キャンパス 5号館5308小講義室

(5) 関西支部

日時：2016年7月8日(金) 18:00～20:00

場所：未定

(6) 中国四国支部

日時：2016年7月9日(土) 15:00～17:00

場所：広島・合人社ウェンディひと・まちプラザ

(7) 東海北陸支部

日時：2016年9月2日(金) 14:00～16:30

場所：ウインクあいち(名古屋駅前)

4-2-3 熊本地震支援活動補助事業の募集 (特命 狩野 徹 副会長)

本学会では、これまでの蓄積等を活かして会員による熊本地震の被災地への支援活動の補助を行いたいと考え、会員による現地支援の活動に対し以下の補助事業を行うこととした

1. **目的** 本学会の会員有志による積極的な現地支援に対し補助を行い復興へ向けての積極的展開を図り、その活動費の一部を補助する
2. **募集と採択** 所定の申請書による募集。計画の目的、要望予算額、成果見込み等を総合的に勘案して、学会運営会議で支援活動を採択し助成を行う
1件当たり上限 20 万円、当面は3団体を予定。予算の確保ができれば追加募集あり。これまでに実施した活動に対しても遡って対象とする
3. **対象の活動** 支部や委員会等会員が中心になった組織的活動(個人のボランティア的活動は対象外)
 - 1) 福祉のまちづくり学会としてふさわしい現地調査や情報収集
 - 2) 被災地における高齢者や障がいのある方の現地支援につながる活動
4. **成果の公表** 活動についての成果等の公表を義務づけ、報告会等を予定
5. **募集期間等** 平成28年6月3日スタート～締め30日17時必着 本部事務局へメールで応募

4-3 : 支部

4-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

(1) 北海道支部総会：2016年5月(会場：一般社団法人北海道開発技術センター)

(2) 北海道ユニバーサルツーリズムフォーラム in あさひかわく主催> :

2016年6月17日(金)(会場：旭川市民活動交流センター CoCoDe 1階大ホール)

【内容】ユニバーサルツーリズムの推進・啓発を進め、北海道内の既存及び新規団体等とのユニバーサルツーリズムのネットワーク化に向けた機会となることを目指す。

4-3-2 東北支部 支部長 岡 正彦

・勉強会開催予定

4-3-3 関東甲信越支部 支部長 高橋 儀平

<活動計画>

- ・2016年4月19日(火)：特別セミナー「中国と日本のバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境を学ぶ」
- ・2016年5月14日(土)：2016年度総会 13:30～15:30(東京大学工学部1号館3階会議室)
- ・2016年6月：役員会(東洋大学予定)
- ・2016年9月：2020東京オリンピック・パラリンピック勉強会(1)
- ・2016年10月：第1回研究会「地方都市における福祉のまちづくりの展開」(山梨県予定)
- ・2016年11月：若手研究者交流会

- ・2017年12月：2020東京オリンピック・パラリンピック勉強会（2）
- ・2017年2月：2020東京オリンピック・パラリンピック勉強会（3）

4-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- ・2016年7月2日（土）午後：東海北陸支部 研究交流会の開催（予定）
- ・2016年9月16日（金）午後：東海北陸支部 第1回セミナーの開催（予定）
バスセミナー、バス事業者含めて意見交換会
- ・2016年11月：東海北陸支部 見学会勉強会の開催（予定）
・名古屋駅タウンウォッチング・名古屋ビルヂング 3月オープン・JPビル 6月オープン
- ・2017年2月：東海北陸支部 第2回セミナーの開催（予定）
- ・2017年3月：東海北陸支部総会（予定）

4-3-5 関西支部 支部長 岡田 明

- ・2016年4月26日（火）：支部役員会（大阪市立大学交流センター）
- ・2016年5月30日（月）：支部総会（常翔学園大阪センター）
- ・2016年5月30日（月）：第44回日本福祉のまちづくり関西セミナー（常翔学園大阪センター）
環境計画学における福祉的視点を目指して（和歌山大学名誉教授 足立啓氏）
- ・2016年6月7日（火）：関西支部勉強会（NPO 法人日常生活支援ネットワーク会議室）
熊本地震第一次調査報告会
- ・セミナー：他年1回程度開催予定
- ・勉強会：他年1～2回程度開催予定
- ・後援・協賛：2016年7月19日（火）ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第24回福祉のまちづくりセミナー

4-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- ・2016年5月12日（木）：支部幹事会（広島文化学園大学）
支部総会・セミナー等の打ち合わせ
- ・2016年7月9日（土）：支部幹事会・支部総会・セミナー（サテライトキャンパスひろしま）
四国地区セミナー打ち合わせ
- ・2016年10月15日（土）：セミナー・（香川工業高等専門学校）
- ・2016年12月10日（土）：支部幹事会（広島文化学園大学）
- ・2017年3月10日（土）：2016年度（第2回）日本福祉のまちづくり学会中国四国支部
研究・活動発表会（サテライトキャンパスひろしま）

4-3-7 九州沖縄支部 支部長 岩浦 厚信

- ・2016年6月14日（火）：IPC講演会（西九州大学佐賀キャンパス）
- ・2016年11月12日（土）：九州沖縄支部総会（もりまちハートセンター）長崎県
- ・2016年11月12日（土）：九州沖縄支部大会（同会場）研究発表と講演会

4-4： 第18回全国大会（函館）

※「5. 報告」の1) に掲載

議案-5 平成28年度 予算案

予 算 書						
(平成28年度・平成27年度比較)						
(単位:円)						
科 目	H28年度	H27年度(最終決算)				H28-H27
	予算額	予算額	実績	差異	執行状況	予算差異
I 収入の部						
1. 会費収入	6,800,000	7,280,000	6,785,000	-495,000	93.2%	-480,000
正会員	6,500,000	7,000,000	6,467,000	-533,000	92.4%	-500,000
学生会員	180,000	180,000	166,000	-14,000	92.2%	0
入会金	120,000	100,000	152,000	52,000	152.0%	20,000
2. 賛助会員会費	800,000	900,000	710,000	-190,000	78.9%	-100,000
賛助会員	800,000	900,000	710,000	-190,000	78.9%	-100,000
3. 事業収入	3,265,000	5,190,000	4,819,509	-370,491	92.9%	-1,925,000
委員会・総会の講演会等参加費(懇親会費含)	180,000	70,000	162,000	92,000	231.4%	110,000
会誌等刊行物販売(会誌購読含)	165,000	300,000	173,220	-126,780	57.7%	-135,000
広告収入	60,000	50,000	30,000	-20,000	60.0%	10,000
論文掲載料・査読料	200,000	310,000	238,100	-71,900	76.8%	-110,000
研究受託費	0	1,000,000	1,080,000	80,000	108.0%	-1,000,000
全国大会収入	2,600,000	3,430,000	3,063,000	-367,000	89.3%	-830,000
支部収入	60,000	30,000	73,189	43,189	244.0%	30,000
4. 寄付金収入	0	200,000	0	-200,000	0.0%	-200,000
5. 前年度繰越金	7,302,332	6,995,619	6,995,619	0	-	306,713
6. 雑収入(利息等)	30,000	30,000	519	-29,481	1.7%	0
収入合計	18,197,332	20,595,619	19,310,647	-1,084,972	93.8%	-2,398,287
II 支出の部						
1. 事業費	12,735,000	12,212,269	7,409,152	-4,803,117	60.7%	522,731
受託研究事業費(H27羽田プロジェクト)	1,000,000	1,000,000	0	-1,000,000	0.0%	0
全国大会事業費	3,100,000	3,930,000	3,065,371	-864,629	78.0%	-830,000
HP受付システム構築・概要集CDR作成	840,000	1,280,000	1,259,232	-20,768	98.4%	-440,000
学術 特別研究委員会事業費	1,925,000	1,570,000	498,394	-1,071,606	31.7%	355,000
国際:英文マガジン	300,000	300,000	0	-300,000	0.0%	0
オリハラ研究会	50,000	100,000	0	-100,000	0.0%	-50,000
全国大会時討論会	100,000	200,000	0	-200,000	0.0%	-100,000
翻訳:IPC講演会:講師旅費・会場費等	400,000	0	0	0	#DIV/0!	400,000
学会賞事業費	300,000	270,000	292,823	22,823	108.5%	30,000
会誌 学会誌3号分、XML化:J-STAGE	1,890,000	1,350,000	1,383,264	33,264	102.5%	540,000
論文 査読者謝金、通信、抜刷作成等	220,000	310,000	255,995	-54,005	82.6%	-90,000
総務 ホームページ維持管理	30,000	100,000	12,722	-87,278	12.7%	-70,000
学会変更登記手数料	30,000	100,000	72,130	-27,870	72.1%	-70,000
総会・理事会運営費(講師謝礼、資料代等)	140,000	130,000	146,326	16,326	112.6%	10,000
新リーフレットの印刷費	30,000	150,000	54,000	-96,000	36.0%	-120,000
支部 事業費	1,400,000	1,412,269	268,895	-1,143,374	19.0%	-12,269
JD年会費・入会金	100,000	10,000	100,000	90,000	1000.0%	90,000
震災復興活動・研究支援費	600,000	0	0	0	#DIV/0!	600,000
選挙関連費用	280,000	0	0	0	#DIV/0!	280,000
2. 管理費	4,810,000	5,135,000	4,396,163	-738,837	85.6%	-325,000
事務局本部人件費	1,200,000	1,500,000	1,151,228	-348,772	76.7%	-300,000
事務委託費	1,850,000	1,795,000	2,000,983	205,983	111.5%	55,000
備品・消耗品費	20,000	60,000	20,483	-39,517	34.1%	-40,000
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	70,000	100,000	70,899	-29,101	70.9%	-30,000
役員等交通費:総会、理事会、幹部会等	1,580,000	1,580,000	1,081,730	-498,270	68.5%	0
税務処理費	70,000	70,000	70,000	0	100.0%	0
事務諸経費(会議費、雑費)	20,000	30,000	840	-29,160	2.8%	-10,000
3. 積立金および積み立て繰入支出	200,000	200,000	200,000	0	100.0%	0
4. 予備費	450,000	500,000	3,000	-497,000	-	-50,000
当年度支出合計	18,195,000	18,047,269	12,008,315	-6,038,954	66.5%	147,731
当年度収支差額	2,332	2,548,350	7,302,332			-2,546,018
次年度繰越金	2,332	2,548,350	7,302,332			-2,546,018

5. 報告

1) 第19回(平成28年)全国大会(函館大会)の概要

大会長：葦澤 憲吉 (函館工業高等専門学校名誉教授)

実行委員長：鈴木 克典 (北星学園大学教授)

■開催概要

●名称 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会(函館)

●大会テーマ モビリティと福祉のまちづくり

●開催日時 2016年8月5日(金)～7日(日)

●開催場所 メイン会場 函館アリーナ サブアリーナ
シンポジウム会場 函館市民会館 小ホール

●主要企画

内容 \ 日付	8月5日(金)	8月6日(土)	8月7日(日)
① 研究発表会		○	○
② 研究討論会		○	○
③ 展示会		○	○
④ 市民公開シンポジウム	○		
④ 交流会		○	
⑥ 見学会	○		
⑦ 学会賞授賞式	○		
⑤ 市電シネマ			○

●セッション数 23セッション

研究発表数：一般論文口頭 89編

コメンテーター論文 18編

●参加登録費

正会員 8000円(10000円)

学生会員 2000円(3000円)

非会員 10000円(10000円)

学生非会員 3000円(3000円)

展示会と市民公開シンポジウムは無料

●実行委員会

委員長：鈴木克典(北星学園大学経済学部教授)

副委員長：澄信一(株式会社澄建築設計事務所)、横山哲(株式会社ドーコン)

委員：石田眞二(北海道科学大学)、石橋達勇(北海学園大学)、折谷久美子(NPO法人スプリングボードユニティ21)、北林亨(一般社団法人南北海道福祉ハイヤー協会)、橋本和幸(北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会)、原文宏(一般社団法人北海道開発技術センター)

事務局：伊藤信之、工藤みゆき、佐藤好子、鹿野たか嶺、向井奈由美、山根文明

日本福祉のまちづくり学会第19回全国大会予算案

【大会収入の部】

項目	項目	単価	数量	金額	備考	
収入	参加費	一般会員(事前)	8,000	150	1,200,000	
		一般会員(当日)、非会員	10,000	10	100,000	
		学生会員(事前)	2,000	20	40,000	
		学生会員(当日)、非会員	3,000	20	60,000	
		非会員	10,000	2	20,000	
		学生非会員	3,000	2	6,000	
	交流会費	会員(事前)	7,000	60	420,000	
		会員(当日)	8,000	10	80,000	
		学生(事前)	3,000	10	30,000	
		学生(当日)	7,000	0	0	
	弁当		1,000	80	80,000	
	見学会	参加費	1,000	20	20,000	保険料、ガイド料
	出展・広告・協賛	出展:企業	30,000	2	60,000	
		出展:NPO、市民団体	10,000	1	10,000	
		概要集広告(A4)	100,000	1	100,000	
		概要集広告(A4 1/2)	50,000	1	50,000	
		概要集広告(A4 1/4)	20,000	1	20,000	
		協賛金	50,000	10	500,000	1口5万円
	本部支援費		500,000	1	500,000	
	開催地補助金		200,000	1	200,000	函館市
合計				3,496,000		

【大会支出の部】

項目	項目	単価	数量	金額	備考	
支出	会場費	函館市民会館	32,400	1	32,400	公開シンポジウム
		函館アリーナ	191,400	1	191,400	研究発表
		設備機器使用料	100,000	1	100,000	
		設営費	1,000,000	1	1,000,000	
	印刷物	プログラム	30,000	1	30,000	32P×300部
		ポスター	50,000	1	50,000	100部作成(A2カラー)
		チラシ	10,000	1	10,000	2000部作成(A4両面カラー)
	シンポジウム	映画上映料	54,000	1	54,000	
		ミュージックサイン	5,000	3	15,000	
		講師旅費謝金	500,000	1	500,000	
	交流会費	会費	6,480	60	388,800	
		飲み放題のみ	1,620	20	32,400	
		演出代	100,000	1	100,000	
		招待者分	6,480	5	32,400	
	見学会	保険料	50	20	1,000	
		ガイド代	10,000	1	10,000	
	託児・情報補償費	PC要約筆記者派遣	50,000	1	50,000	市民公開シンポジウム
		託児代	25,000	2	50,000	申し込み者用
		参加者用要約筆記・手話通訳	50,000	1	50,000	申し込み者用
	その他費用	アルバイト人件費	390,000	1	390,000	
		弁当代	950	200	190,000	
		事務用品費	100,000	1	100,000	
		通信費	50,000	1	50,000	
事務局諸経費		68,600	1	68,600	備品、運搬用レンタカー等	
合計				3,496,000	単位:円	

2) 第20回(平成29年)全国大会(東海大会)の概要

日時 2017年8月9日(水) 10日(木) 11日(金・祝)

場所 日本福祉大学 東海キャンパス (2015年新設) 太田川駅から徒歩5分
愛知県東海市大田町川南新田229番地

東海市芸術劇場 (2015年新設) 太田川駅隣接

アクセス 名古屋鉄道太田川駅 (2011年、高架化完成、バリアフリー)

※「名鉄名古屋駅」(JR名古屋駅隣接)から、特急で約15分

※「名鉄中部国際空港駅」から、特急で約19分

宿泊関係 名古屋市内、中部国際空港近辺 に多数あり

日程等は今後検討

市民公開イベントは 11日(山の日)に芸術劇場での開催を想定

6. その他